

テーマ

『広めよう地域教育協議会』**守ろう地域のたからの子 育てよう故郷を愛する子どもたち**

目標

- ・教職員、役員だけではなく、地域住民にも当協議会の活動を知ってもらう
- ・各校園の人材バンクを地域として集約し、活用できるようにする

今年度の取組紹介

《広報紙「京チュン通信」の発行》

本協議会及び各校園の活動・取組を京西中学校区の住民の方に広く認知していただくために、学期に1回（3回/年）、広報紙「京チュン通信」を発行し、自治連合会の協力を得て校区全戸配布しました。



《史跡散策&清掃作業》

「育てよう故郷を愛する子供たちに」のテーマに基づき、昨年制作した史跡掲載校区マップをもとに校区内の史跡を散策し、合わせてゴミ拾い等の清掃活動を実施しました。

第1回として六条小学校区の五条山天神社、赤膚焼大塩正人窯、大亀谷国有林で実施し、大人子ども合わせて約60名参加があり、第2回として伏見南小学校区の垂仁天皇陵、皇大神社、安康天皇陵、宝来神社で実施して約80名の参加がありました。



《各校園の教育活動の支援》

環境美化活動、学習活動の支援、図書館ボランティア等、各校園が必要とする支援を行いました。

今年度のまとめ

昨年度の先進校視察に刺激され、イベント開催型の取組から各校園が必要とする学校支援型の取組へシフトしました。そのことにより、伏見南小学校区のコーディネーターが六条小学校区の環境美化活動をともに行うなど、小学校の校区を越えて中学校区全体としてのボランティア活動ができ、コーディネーター同士の結束力も高まり充実感を得られました。このことは、今年度始めて実施した「史跡散策&清掃活動」の企画・運営でもみられました。

年3回発行した広報紙「京チュン通信」により協議会の活動内容及び各校園の教育活動の様子を校区住民の方々へ知らせることができました。

来年度に向けて

学校支援を前提とした子どもたちへの関わり方、またボランティアの確保や広報活動の取組をより一層充実していきます。具体的には、各校園の年間行事予定に基づきコーディネーターのサポートが必要な場面で支援を実践していきます。

校区史跡マップには、今年度散策した史跡以外にもまだまだ多くの歴史的史跡があり、「史跡散策&清掃活動」を第3回、第4回と実施し、歴史ある地域を大人も子どもも一緒に学びます。

テーマ

グリーン大作戦 —学校をみどりに ころろを豊かに—

目標

- ・校内美化及び緑化に努め、豊かな人間性を育てる
- ・地域の方々から生き方を学ぶ

今年度の取組紹介

豊かなころろを育て、共に支え合いお互いをたいせつにできる生徒を育てるため、なかまから学ぶことはもちろんのこと、地域の方々とはさまざまな場面で交流を深め、生き方をはじめ、多くのことを学ぶ取組を行いました。

○花いっぱい事業 プロジェクト「ひまわり」「チューリップ」「K（カボチャ）」等を実施しました。

特にプロジェクト「ひまわり」については、保護者ら地域の方の協力で2,000株の種植えを行ない、校内への定植はもちろん、校区の西の京高校・東養護学校・小学校・幼稚園・保育園や地域の方々へ苗を配布しました。また、「K（カボチャ）」で収穫したカボチャをボランティアの方に調理していただき、生徒たちと昼食時に食べました。



〈西の京高校正門横のヒマワリ〉

○ふれあい美化作業

ボランティアの協力を得て生徒とともに校内美化作業を実施しました。

○福祉体験学習

車いす体験や高齢者疑似体験学習などに、地域の方々によるボランティア協力隊を組織していただき学習支援とともに見守っていただきました。



○第6回京中オープンスクール

「学ぼう地域の方々から・考えよう生き方」をテーマに地域の方々を中心にゲストティーチャーを招き、25講座を開講しました。

また、午後の部では、盲目のシンガーソングライターの堀内佳さんを招き、「今、しあわせに生きる為に・・・」と題して、愛や夢にあふれたオリジナル曲を中心に、「生まれる」ということ「命の大切さ」「前向きに生きることの素晴らしさ」を熱く語っていただきました。



今年度のまとめ

地域コーディネーターを中心に学校教育活動の支援をメインに、多くのボランティアの協力を得て校内美化、学習(福祉体験学習など)支援、図書館支援、第6回オープンスクール等を実施しました。生徒たちは、地域の方々とはさまざまな場面で交流を深め、生き方をはじめ、多くのことを学ぶことができました。

来年度に向けて

一層、日常的な取組を支援していただけるように、地域コーディネーターの協力でボランティアの裾野をひろげるとともに、教職員全体の理解を広げることにおい重点をおいて取り組んでいきます。また、花いっぱい活動「プロジェクトひまわり」を学校から地域へより一層広げていきたいと思ひます。

テーマ

「地域とふれ合い、学び合い」**今を心豊かに生きる子ども、地域と学び合う子どもを目指す**

今年度の取組紹介

六条小学校の教育目標「夢をもち心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を目指し教育活動を進めてきました。そして、地域で決める学校予算事業では心豊かな子どもの育成に向け、「地域とふれ合い、学び合い」をテーマとして「図書事業」「生き物大好き事業」「昔遊び事業」「町探検事業」の4事業を推進してきました。

「図書事業」では、今までの読み聞かせや蔵書修理だけでなく、たくさん子ども達が本に興味を持ち本に触れるように様々な企画を行なってきました。たとえば七夕まつりの行事の中で、星にちなんだ音楽劇を催し、さらに図書館から貸し出してもらった星に関する図書をたくさん並べ、誰もが手にとって見られるようなコーナーを設けました。さらに、六条ふれあい祭には科学実験コーナーを設置し実験を行なうとともに科学に関する本をたくさん集め展示しました。今まであまり科学に関する本を手にとったことがない子ども達にとっては新しい本との出会いになりました。



本年度は新たに、町探検ボランティアや昔のくらし体験ボランティアをお願いしました。七輪体験ではボランティアの方から昔の体験を聞いた後、実際に火をおこしました。ボランティアの皆さんは子ども達の力で炭に火が着くように我慢強く見守ってくださいました。火おこしの難しさと火のありがたさを実感することができました。教科書の写真や文字では決して分からない昔のくらしを体験し、心に残る学習となりました。



今年度のまとめ

本年度のテーマ「地域とふれ合い、学び合い」にふさわしく、さまざまな学習の場面で、地域の方々それぞれの能力や技能を生かして支援していただきました。たくさんのボランティアの力を借りることで安全で効果的に学習活動を行うことができました。図書ボランティアの方々には、「もう一歩先に子ども達に何ができるのか」を考え、今にない新しい取組をしていただきました。本が好きだと感じる六条っ子が脈々と育まれています。

来年度に向けて

図書ボランティアの方々は講師を招いて本の修理の研修をするなど、今まで以上に進んで活動してくださいました。今後もボランティアと学校の連携を密にし、本が大好きな子どもの育成に努めていきます。本年度は地域の力を広範囲に広げ活動し、子ども達の学習の場へと展開していただきました。来年度は「地域とふれあい、学びあい」を念頭におき、本4事業を踏襲しながらも内容を検討しさらなる充実を図っていきます。

テーマ

かしこく なかよく たくましく

目標

伏見南で学んだことを誇れる子の育成～見つけよう 今の自分 未来の自分

今年度の取組紹介

伏見南で学んだことを誇れる子の育成のために、まず地域を知り地域のすばらしさを学習することが大切であると考えました。地域の方をゲストティチャーとしてお招きし、学年ごとに地域学習を行いました。3年生では、総合的な学習の時間に校区にあるため池の役割を水利組合長さんから教えていただき、そのあと子ども達一人ひとりが、自分の課題を解決するために図書室の本を使っての調べ学習をしました。

「伝え合い学び合う授業作り」の取組を地域の方と共に進めました。2年生の生活科では、幼稚園児・保育園児を招いて、自分たちが作ったおもちゃの遊び方を説明し、一緒に遊んで交流する様子を地域の方に参観していただきました。地域の方に説明の仕方をほめていただき、子ども達は大変喜んでいました。

「豊かな心・人間関係力の育成」の取組として、特別支援学級で「ひまわりレストラン」を開きました。確かな勤労観を身につけることを目標にキャリア教育の視点から、準備から買出し、調理、販売、収益金の使い道までを学習しました。レストランのお客様として地域の方をお迎えし、「おしかったよ。」などと感想をいただきました。



今年度のまとめ

『図書室でかしこく・地域学びあいタイム』では、地域の方と共に図書室活用型学習を展開することができました。また、地域の方と共に『干し柿作り』・『花いっぱい運動』・『球技大会』など体験的な活動に取り組むことを通して、子ども達の『道徳的实践力』を養い、『自己肯定感』を高めることができました。

児童健全育成推進協議会（愛称：なかよし会）やPTAOB会・万年青年クラブのみなさんのご協力を得て、登下校の安全見守り活動を推進することができました。

来年度に向けて

「伝え合い学び合う授業作り」「確かな考えに繋がる書く活動」を全教科・全領域で取り組み、その学びの場の中核として、地域の方の支援をいただきながら図書室活用型学習を推進します。

「豊かな心・人間関係力の育成」を目指し、地域の方と共にキャリア教育の視点から様々な学習場面で体験的な活動を展開していきます。

テーマ

豊かな体験が広がる環境の創造

目標

自ら考え、夢中になって遊ぶ子ども

今年度の取組紹介

菜の花プロジェクトを始めて5年目となる今年度。継続していくことで、ボランティアの人材も増えてきています。次から次へ引継ぐことでより一層、活動内容が充実していくと感じました。菜の花の種取り・油絞りで、菜の花の小さな種の一粒子粒を大事にし、昔から伝わっている油絞りの作業の実体験は、子どもや保護者・地域の方も感動していました。

7月に薬師寺・11月に唐招提寺に油奉納をするために地域の方と一緒に園外保育に出かけました。お寺での奉納の様子は、初めての方がおられ、興味深く見ておられました。

園外保育では、地域の方と経験した刈り取りと油絞りの話題や自分のことを話したり、薬師寺や唐招提寺のことを教えてもらったりして、楽しく過ごすことができました。

園児たちは、地域の方から優しく、笑顔で接していただいたことで自尊感情が育っていくと感じました。自分の言動に自信をもち、夢中になって遊びに取り組むようになりました。



今年度のまとめ

- ・地域の方が来園すると挨拶を交わし「今日も一緒にしようね。」と手を繋ぎに行ったり「ありがとう」と心からお礼を言ったり、自分の作ったものや手紙を渡したりなど、自主的に行動する子どもが増えてきました。“安心できる人との関わりは、今日も楽しいことがある。”という思いに繋がり、コミュニケーション力が育ち、感謝する気持ちをもって様々に表現するようになりました。

- ・地域の方も「幼稚園に来るのが楽しい。」「子どもから元気がもらえる。」「子どもたちのために自分のできることをしたい。」と、生きがいを感じたり、昔ながらの油絞りの作業を見て、昔の人の知恵と凄さなど子どもと同じ感動を味わったりしておられました。

- ・地域の方による教育支援は、「おもしろい・すごい」と感動体験を味わい、「またしたい。こんなことができるようになった。」という気持ちが高まり、生活や遊びなどに意欲的でした。

来年度に向けて

- ・地域の自然環境や文化・世界遺産などに触れる機会を通して、地域を愛し、大切にすることを意欲的に活動する子どもを育てます。

- ・六条らしさを推進し、保護者や地域の方との協力体制を強化していきます。

テーマ

いきいき輝け！笑顔いっぱい

目標

いろいろな人や身近なものとのかかわりを通して、
心豊かでいきいきと活動する幼児を育てる

今年度の取組紹介

生活様式の変化や人やものとのかかわりの希薄化により、幼児は入園するまで家庭内で過ごすことが多く経験が乏しいです。そこで、地域の方や近隣校園と交流して、温かな心にふれ、思いやりの気持ちや人とつながる喜びを味わうことで感動体験を積み重ね、心豊かでいきいきと活動できるよう計画を立て実施してきました。

本年度は、地域人材の活用に重点をおき、地域コーディネーターと連携を取りながら、様々な感動体験ができるように計画・実践をし、地域の人々とかかわる機会をつくり、つながりを感じるきっかけとなりました。

地域にある腹話術教室の(生徒の方)にきていただき、子ども達は初めて腹話術というものを見ることができました。「どんぐりちゃんかわいいな」「お口すごくおおきいな」と、人形の動きに夢中になっている姿がみられました。



また、保護者も一緒に楽しみ、地域に教室があることを知る機会となりました。継続して行っている園行事のお話ひろばでは、温かな口調の話に耳を傾け目を輝かせながら、お話の世界を想像する姿が見られます。「今日は、どんなお話？」と、楽しみにしていたり「あの恐竜は優しい恐竜だったんだね」と、余韻に浸ったりする姿も見られました。また、昔遊びひろばでは、童謡のリズムにのって体を動かしたり、お手玉の感触や音を楽しんだりしながら、ふれ合って遊ぶ楽しさを味わうことができました。

環境整備では、地域の方・保護者の方に任せるのではなく、自分たちも園をきれいにしようという意識を大切にしてきました。友達と一緒に寄せ植えをする中で「そっと持たなあかんで」「このお花かわいいね」と、大切に扱おうとする姿が見られました。また、壁画制作では、自分たちで絵を考え保護者の方と一緒に描いていくことで、出来上がった喜びと充実感を味わうことができました。

**今年度のまとめ**

子ども達は、保護者・地域の方々と共に、様々な感動体験を積み重ねてきたことで、心弾む時間をすごし、心豊かに成長することができました。また、地域の方々の協力と温かなふれあいを通して、愛情を感じることができました。保護者の方より「家ではできない体験ができ、子どもの意外な姿がみられた」という声が聞かれました。

来年度に向けて

地域の方の教育力を活用しながら、園児が人やものとのふれあいを通して様々な経験をし、心豊かに活動する子どもを育てていけるように、園活動の充実に向けて取り組んでいきたいと思ひます。